

第6回 国民主権について

小沢隆一（東京慈恵会医科大学・憲法学）

はじめに

- ・「(議会制) 民主主義って何だ」
- ・国民は本当に主権者か 国民主権・民主主義を取り戻すには…
- ・憲法原理から考えよう

1. 国民主権の原理について

- ・「人民の人民による人民のための政治」(リンカーン)
自明のような原理 実は決して「自明」ではない複雑な意味(その位相)が…
- ①主権者としての「国民」とは誰のことか? 国民(Nation) vs 人民(People)
- ②主権者としての「国民」は万能か? 何でも決めてよいか?
立憲主義(憲法に基づく政治) 直接民主制 vs 国民代表制
- ③主権者国民の代表(国民代表)はどのように選ぶべきか?
多数代表法(小選挙区制) vs 少数代表法(比例代表制)
- ④国民の意思はどのようにしたら代表(議員)に反映できるのか?
命令的委任 vs 一般的委任(代表委任) リコール制 「落選運動」

2. 市民に選挙をとりもどせ!

- ・「有効性感覚のない」日本の政治 投票率の低下(とくに若者) 大丈夫か18歳選挙制
- ・その原因はどこに? 政治的無関心?(←デモの再興) 小選挙区制導入後に顕著
- ・戦後日本政治の素描
- ①明治憲法から日本国憲法へ—断絶・転換(主権原理・議会の権限)と連続(中選挙区制)
- ②「55年体制」 利益誘導政治 自民党一党支配 革新自治体の隆盛と退潮
- ③1990年代の「政治改革」 震源地としての財界 小沢一郎の位置 保守二大政党制
- ④2009年「政権交代」以後の状況 現行制度の矛盾の噴出

3. 真の政治改革・ほんとうに民主的な選挙制度への改革を

- ・「建物」としての選挙制度 (資料参照)
- ①「土台」(基礎)としての国民主権
- ②「基本設計」としての「代表法」(何をどう代表させるのか 小選挙区制か比例代表制か)
- ③「造作」としての選挙区(一票の格差の是正)・立候補制(供託金)・投票方法・選挙運動の自由など
- ・ほんとうの主権者になるために なすべきこと、実現すべきことは何か